

# 日本語・韓国語の人称代名詞の比較\*

呉 秀賢

## Abstract

This paper attempts to examine some parallels and differences of personal pronouns between Japanese and Korean. It concludes that the 1st person and 2nd person pronouns have different forms according to the gender in Japanese, but not in Korean, and that the 1st person and 2nd person pronouns have different forms according to the social status of the speaker and the hearer in both the languages.

**Keywords :** 人称代名詞, 自称, 対称, 男女差, 上下関係

## はじめに

最近の外国語教育の傾向はコミュニケーション能力の育成を重視していく傾向にある。学習者の欲求は就職や進学準備のためといったものの他に、学習していることばの国の映画やドラマ、音楽、マンガ、ゲームに接する機会が増えているため、それらをそのままの原語で味わったり、理解したいというものもある。実際、韓国では高等学校教育の中での外国語教育において日本語があり、ソウル市の例をみると、2009年度ソウル市教育省の調査で、ソウル市内高校308校のうち、278校（9割以上）が日本語科目を設置している。

円滑なコミュニケーションをとるために必要なさまざまな要因の中から、本稿では日本語と韓国語の話し手および聞き手を表す人称表現の類似点と相違点を明らかにすることにより、日本人に対する韓国語教育や韓国人に対する日本語教育の面からはもちろん、実際の異文化コミュニケーションの場における言語運用能力の育成という面からも、異文化理解の一助とすることを目的とする。

## 1. 用語の定義

日本語においては、話し手自身および聞き手を指すことばに関しては、「呼称」、「指称」、「人称」、「名称」、「呼びかけ」などさまざまな用語が用いられる。韓国語においても、「呼称」、「称号」、「指称」、「人称」、「名称」などの用語が用いられる。また、研究者により同じ用語を使用しながらもその意味するところが微妙に異なり、混同する場合も少なくない。そこで、それらの用語について整理してみる。

日本語において人称とは、『国語学大辞典』には「話し手自身（一人称）、話し相手（二人称）、

それ以外の人やもの（三人称）の区別」とあり、『日本語教育辞典』には「文法範疇のひとつであり、話し手が表現する名詞・代名詞が、話し手自身を表わすもの、聞き手を表わすもの、およびそれ以外の人・物・事などを表すものであるかを区別するという称」であると説明されている。また、鈴木（1973）は話し手自身を表すことを「一人称」または「自称」、聞き手を表すことを「二人称」または「対称」、そして話し手と聞き手以外の第三者を表すことを「三人称」または「他称」としている。国広（1990）は話し手自身に言及することを「自称」、聞き手に呼びかけたり言及することを「呼称」、その他の人や物に言及することを「他称」としている。

韓国語においては、『新国語辞典』に「명사, 대명사, 동사에 관계하는 문법 범주의 하나. 화자가 자신을 가리키는 제일 인칭, 청자를 가리키는 제이 인칭, 제일 인칭과 제이 인칭을 제외한 나머지를 가리키는 제삼 인칭이 있다.」（日本語訳：名詞、代名詞、動詞に關係する文法範疇のひとつ。話者が自身を指す「第一人称」、聴者を指す「第二人称」、第一人称と第二人称を除くものを指す「第三人称」がある。）と説明されている。また、高校の文法教科書に次のように記している。

인칭대명사 : 1 인칭—나, 저, 우리, 저희

( na, jeo, uri, jeohi )

(人称代名詞 : 1人称—わたし、わたくし、われわれなど)

2 인칭—너, 자네. 그대, 당신, 너희, 여러분

( neo, jane, keude, dangsin, neohi, yeoreobun )

(二人称—あなた、きみ、みなさんなど)

3 인칭—그, 이분, 그분, 저분, 이이, 그이, 저이

( keu, ibun, keubun, jeobun, ii, keui, jeoi )

(三人称—かれ、このかた、そのかたなど)

미지칭—누구 (未指称—だれ)

( nuku )

부정칭—아무 (不定称—だれ)

( amu )

以上のようにさまざまな用語の中から本稿では、人称を「自称」、「対称」、「他称」の区別に従い進めることにする。

## 2. 調査概要

日本語と韓国語、両言語における人称の相違点を調べるため、ここで参照するデータは、2009年5月から2010年2月までのNHKハンゲル講座の教材（{N}と略す）、および2002年度に翻訳出版された『カシコギ』（{カ}と略す）という小説である。同じ場面でどのような相違点がみられるか調べる。

ここで一つ言及したいことは、「他称」に関しては話し手と聞き手の話そうとする内容に関わ

る問題で、その範囲が膨大なため今回は対象として扱わないことにする。

データは両資料にある会話の中から「自称」、「対称」を収集し、それらを比較したものである。しかし、「自称」、「対称」の中で複数を表す「われわれ、みなさんなどの」の複数形は除外する。今回のデータは両資料とも韓国語から日本語に訳されたものであるため、一部の一例として参考にしていただきたい。

### 3. 分析結果

人称には代名詞、人称代名詞、固有名詞、親族名称、職業名称などがある。

人称代名詞は日本語においては「自称」は「わたくし、僕」などがあり、「対称」は「あなた、君」などが、「他称」は「このかた、そのかた、あのかた、どのかた」などがある。固有名詞は個人の名前を表すもので、親族名称は「おとうさん、おかあさん」のように親族間で用いられる名称である。また、職業名称は「課長、運転手さん」のように職業を表す名称である。

まず、「自称」についてである。

- (1) 僕は死にたくない。(子供から父) {カ}
- (2) 난 죽기 싫어요. {カ} (nan)
- (3) わたしはあとどのくらい待てばいいんですか。(男性から先輩) {カ}
- (4) 난 얼마나 더 기다려야 될까요? {カ} (nan)
- (5) 俺がなぜ詩を捨てて評論に走ったか。(男性から友人) {カ}
- (6) 내가 왜 시를 포기하고 평론으로 돌아왔는지. {カ} (nega)
- (7) 私は小田ヒビキです。(ヒビキから社長) {N}
- (8) 저는 오다히비키입니다. (jeonun)
- (9) 僕はリーダのテリーです。(テリーからヒビキ) {N}
- (10) 저는 리더인 테리입니다. (jeonun)
- (11) 僕が使いっぱなし? (ポビからみんな) {N}
- (12) 내가 심부름을 해야해? (nega)
- (13) おれは乗らないって。(ソニからポビ) {N}
- (14) 난 안탄다고. (nan)
- (15) 私もちょっと。(社長からジホ) {N}
- (16) 나도 좀. (nado)
- (17) 私もすぐ… (ジホから社長) {N}
- (18) 저도 곧… (jeodo)

例文の登場人物は {カ} では [子供, 父, 先輩, 友人] で、みんな男である。{N} の場合は, [ヒビキ, 社長, テリー, ポビ, ソニ, ナクタ, ジホ, シオダ, マネジャー, ハマダ, ミラ] で [ヒビキ] と [ミラ] が女性で、その他はみんな男性である。

以上の例をみると韓国語の場合は「自称」として「나 (na), 저 (jeo)」が用いられる。これ

らを直訳すると「나 (na)」は「わたし」, 「저 (jeo)」は「わたくし」で, 「저 (jeo)」は謙讓語にあたる。例 (8), (10) をみても両方とも「나 (na)」が用いられて, 男女の差はみられない。つぎに, 例 (16), (18) をみても「나 (na)」と「저 (jeo)」が用いられて, 聞き手が自分より目上か目下かの上下関係で使い分けている。話し手より目上の相手に対しては「저 (jeo)」を, 相手が同じ立場あるいは目下の場合は「나 (na)」を用いる。

日本語の場合は「わたし, ぼく, おれ」が用いられ, 男女差はみられるが, 話し手と聞き手の上下関係は関係していない。

次は「対称」である。

- (19) それにお前いくつだ? (父から子供) {カ}
- (20) 그리고 네가 지금 몇살이야? {カ} (**nega**)
- (21) きみはどのようにしてこんなアイデアを思いついたのかね? (先輩から男性) {カ}
- (22) 자네는 어떻게 그런 생각을 해냈나? {カ} (**janenun**)
- (23) 私に春を運んでくれたのはあなたです。(ヒビキからドヨン) {N}
- (24) 내게 봄을 가져다 준것은 당신입니다. (**dangsin**)
- (25)ところで, あんたはだれ? (おばさんからヒビキ) {N}
- (26) 그런데 아가씨는 누구지? (**agassi**)
- (27) それ, 自分で考えたの? (古家からテリー) {N}
- (28) 그말 자기가 생각했어요? (**jagiga**)
- (29) あなた! (ヒビキから男) {N}
- (30) 자기야! (**jagiya**)
- (31)聞いたか? お前ら? (テリーからみんな) {N}
- (32) 들었어? 니들? (**nideol**)
- (33) 坊やは何しに来たの? (ヒビキから子ども) {N}
- (34) 꼬마 친구는 뭐하러 왔어요? (**kkomachingunun**)
- (35) みんな,一緒に日本に行ってみよう。(ヒビキからみんな) {N}
- (36) 여러분,우리 같이 일본에 가봐요. (**yeoreobun**)
- (37) お前が行って来い! (ハマダからシオダ) {N}
- (38) 자네가 갔다와. (**janega**)
- (39) みんな,起きろう! (テリーからみんな) {N}
- (40) 다들 일어나! (**dadeol**)
- (41) じゃ, 君も一緒に飲みたまえ。(ハ PD からジホ) {N}
- (42) 그럼, 자네도 같이 마시게. (**janedo**)
- (43) 君が頼りだよ。(ジホからシオダ) {N}
- (44) 당신한테 달려있어요. (**dangsinhante**)
- (45) 今日, あなたはレッスンがある日じゃない。(ミラからソニ) {N}
- (46) 오늘 오빠는 뭘슨 있는 날이잖아. (**oppnun**)
- (47) お前,何だっけ? (ソニからシオダ) {N}

(48) 너, 무슨? (neo)

以上の「対称」の例をみると、日本語においては「おまえ、きみ、あなた、じぶん」が用いられ、韓国語においては「너 (neo), 자네 (jane), 당신 (dangsin), 아가씨 (agassi), 자기 (jagi), 오빠 (oppa)」が用いられている。ここにあらわれる韓国語の「対称」を訳すると「너 (neo)」は「おまえ」, 「자네 (jane)」は「きみ」, 「당신 (dangsin)」は「あなた」, 「아가씨 (agassi)」は「おじょうさん」, 「자기 (jagi)」は「あなた」, 「오빠 (oppa)」は「おにいさん」になる。

「対称」においても「自称」と同じく男女差は韓国語ではみられなかったが日本語ではみられた(例(24), (44)の「당신 (dangsin)」を(23)「あなた」, (43)「きみ」)。次は、例(38), (48)と例(37), (41)でみられるように、話し手と聞き手との上下関係に関しては両言語にみられたが、両言語とも目下から目上への「対称」はみられなかった。

ここで注目したいのは、韓国語の場合、「対称」において親族関係でない相手に対して「親族名称」が用いられることである(例46)。このことは先行研究でも証明されているように韓国語の「対称」においては「親族名称の虚構的用法 (fictive use)」が使用されていることの裏付けになる。また、少ない例からではあったが「対称」に関しては日本語より韓国語の場合が多くの表現を用いていることがいえる。

以上のことをまとめると次のようになる。

- 1) 「自称」で、男女差は日本語ではみられるが、韓国語ではみられない。
- 2) 「自称」で、話し手と聞き手との上下関係は日本語ではみられないが、韓国語ではみられる。
- 3) 「対称」で、男女差は日本語ではみられるが、韓国語ではみられない。
- 4) 「対称」で、話し手と聞き手の上下関係は両言語において関係している。
- 5) 「対称」で、両言語とも目下から目上への用法がみられない。

### おわりに

英語をはじめとする西欧語の場合は人称代名詞が頻繁に使われ、特別な場合を除いて、会話においては話し手、聞き手を指すことばとして、目上・目下の区別に関係なく人称代名詞を使うことができるといわれている。しかし、日本語と韓国語の場合、話し手と聞き手の関係や場面によって使いわけなければならない。さらに目上の聞き手に対することばとしては、適当なことばが人称代名詞の中には見当たらないことがいえる。

両言語において、話し手は聞き手をどのようなことばで言うかということを、話し手と聞き手との関係、場面などを常に意識してことばを選択しなければならないことになる。

はじめに述べたように円滑なコミュニケーションをとるためには、聞き手との関係において適切な人称表現を選択して用いる必要がある。

今回は「自称」, 「対称」の調査に止まったが、今後は「他称」についても調べることを課題としたい。また、韓国語から日本語に訳されたものだけでなく、日本語から韓国語に訳された資料も取り入れてより多くの資料から調査を進めたい。

## 注

\*本稿は2010年4月3日に立命館大学において行われた「グローバルゼーションの中の日本語-その感性と活力」で発表した原稿に修正を加えたものである。当日、諸先生方から貴重なご指摘をいただいたことに心より感謝申し上げます。

## 参照資料①

『テレビでハングル講座』 2009年5月～2010年2月号 NHK出版  
趙昌仁 / 著・金淳稿 / 訳 『カシコギ』 サンマーク出版 2002  
조창인 『가시고기』 밝은세상 2002  
고등학교문법 서울대국어교육연구소 교육인적자원부 2004  
(高等学校文法 ソウル大学国語教育研究所 教育人的資源部 2004)

## 参考資料② NHK『テレビでハングル講座』に出てくる人称(本文での用例番号と異なる)

		話し手	聞き手	韓国語 日本語
1	6課	ヒビキ	チョ社長	저는 오다 히비키입니다. (jeonun) 私は小田ひびきです。
2	7課	ヒビキ	ソドヨン	내게 봄을 가져다 준것은 당신입니다. (nege, dangsin) 私に春を運んでくれたのはあなたです。
3		チョ社長	ファン室長	하지만, 그녀가 일본의 한류팬이… (kuneoga) しかし、彼女が日本に韓流ファンが…
4		ファン室長	ヒビキ	내일부터 그사람들 현장에… (kusaramdul) 明日から彼らの現場に…
5	8課	テリー	ヒビキ	저는 리더인 테리입니다 (jeonun) 僕はリーダーのテリーです。
6		ポビ	みんな	내가 심부름을 해야해? (nega) 僕が使えばなし?
7	9課	クォンゴヌ	ヒビキ	임성호씨가 영화 찍는다는… (imseonghossiga) イム・ソンホさんが映画に出るって…
8		ファン室長	ヒビキ	그럼 우리 트로트나이킹도… (uri) それなら、うちのトロットナイトキングも
9	11課	ヒビキ	テリー	저의 첫번째 일입니다 (jeoei) 私の初めての仕事です。
10		ヒビキ	テリー	제가 갑니다 (jega) 私が行きます。
11		ヒビキ	テリー	그쪽은 기다리고 있습니다 (keujjokeun) 向こうは待ってます。

日本語・韓国語の人称代名詞の比較 (呉)

12		ポビ	ナクタ	<b>우리들</b> 책임이 아닐까? ( urideul ) <b>おれたち</b> の責任じゃないか?
13		ソニ	ポビ	<b>난</b> 안탄다고… ( nan ) <b>おれ</b> は乗らないって…
14	12 課	ナクタ	ヒビキ	<b>그사람들</b> 을 위해서… ( keusalamdeul ) <b>その人たち</b> のために…
15		ヒビキ	主婦	<b>이 사람들</b> 은 트로트도 잘하고… ( isalamdeul ) <b>この人たち</b> はトロットも上手で…
16		ヒビキ	主婦	<b>이 사람</b> 이 리더예요. ( isalami ) <b>この人</b> がリーダーです。
17	14 課	ヒビキ	受付	<b>박PD</b> 님 있어요? ( parkPDnim ) <b>パクプロデューサーさん</b> はいますか?
18	15 課	おばさん	ヒビキ	<b>우리 손자</b> 만나러 왔어. ( urisonja ) <b>うちの孫</b> に会いに来たのよ。
19		おばさん	ヒビキ	그런데 <b>아가씨</b> 는 누구지? ( agassi ) ところで, <b>あんた</b> は誰だ?
20	17 課	ポビ	ソニ	<b>우리들</b> 은 일본말 안하면 안돼요? ( urideuleun ) <b>僕ら</b> は日本語しゃべらなきゃいけないの?
21		古家	テリー	그말 <b>자기</b> 가 생각했어요? ( jagi ) それ, <b>自分</b> で考えたんですか?
22	18 課	ナクタ	彼女	<b>내</b> 가 전화할때… ( nega ) <b>おれ</b> が電話したときに…
23		ヒビキ	ナクタ	만약 <b>그 여자 친구</b> 와 … ( keu yeojachingu ) もし, <b>その彼女</b> と…
24	19 課	ヒビキ	男	<b>자기야!</b> ( jagiya ) <b>あなた!</b>
25		ナクタ	ヒビキ	<b>누나</b> 어디갔지? ( nuna ) <b>アネキ</b> , どこいったの?
26		テリー	みんな	들었어? <b>니들?</b> ( nideul ) 聞いたか? <b>お前ら?</b>
27	22 課	ヒビキ	こども	<b>꼬마 친구</b> 는 뭐하러 왔어요? ( kkomachinguneun ) <b>坊主</b> は何しに来たの?
28	23 課	ヒビキ	みんな	<b>젊은이들</b> 이 즐기는 음악에… ( jeolmeunideuli ) <b>若者たち</b> が楽しんでいる音楽に…

29	24 課	ヒビキ	みんな	<b>여러분</b> , 우리 같이 일본에 가봐요. (yeoleobun, uri) <b>みんな</b> , 一緒に日本に行ってみよう
30	30 課	ハマダ	シオダ	<b>자네</b> 가 갔다와. (janeaga) <b>お前</b> が行って来い。
31		シオダ	ハマダ	예? <b>저</b> 요? (jeoyo) え? 僕ですか?
32	31 課	ソニ	ポビ	<b>그 친구</b> 뭐야? (keo chingu) <b>あいつ</b> ! 何だ。
33	32 課	テリー	みんな	<b>다들</b> 일어나! (dadeul) <b>みんな</b> , 起きろう!
34	41 課	ソニ	シオダ	<b>우리</b> 오늘— (urin) <b>おれたち</b> , 今日—
35		ナクタ	担当者	<b>저희</b> 는 트로트나이트킹… (jeohinun) <b>ぼくたち</b> , トロットナイトキング…
36		ハ PD	オジホ	그럼 <b>자네</b> 도 같이 마시게. (janedo) じゃ, <b>君</b> も一緒に飲みたまえ
37		チョ社長	オジホ	<b>나</b> 도 좀… (nado) <b>私</b> もちょっと…
38		オジホ	チョ社長	<b>저</b> 도 곧… (jeodo) <b>私</b> もすぐ…
39		オジホ	みんな	<b>우리</b> 어머니나 할머니같은 분들이… (uri) <b>僕</b> の母や祖母のような方たちが…
40		オジホ	シオダ	<b>당신</b> 한테 달려있어요. (dangsinhantea) <b>君</b> がたよりだ。(あなたにかかっています)
41	42 課	ミラ	ソニ	오늘 <b>오빠</b> 댁슨 있는 날이잖아. (oppa) 今日, <b>あなた</b> はレッスンがある日じゃない。
42		ソニ	シオダ	<b>네</b> , 무슨? (neo) <b>お前</b> , 何だっけ?
43	44 課	ポビ	テリー	<b>내</b> 가 어떻게 되든 <b>네</b> 는 꼭… (neaga, neonun) <b>私</b> がどのようになろうとも, <b>お前</b> は必ず…
44	45 課	チョ社長	みんな	<b>자네들</b> 이 분위기를 좀… (janedeuri) <b>君たち</b> が雰囲気を…
45		チョ社長	みんな	그럼 <b>자네들</b> 끼리… (jaginedeulkkiri) じゃあ, <b>自分たち</b> で…

## 参考文献

### 【日本語文献】

- 国広哲弥 (1990) 「呼称の諸問題」『日本語学』9 明治書院  
鈴木孝夫 (1973) 「人を表すことば」『ことばと文化』岩波新書  
(2009) 『日本語教のすすめ』新潮社  
三輪正 (2005) 『一人称二人称と対話』人文書院  
林炫情 (2001) 「韓国語と日本語の呼称に関する社会学言語学的研究」  
『日本学報』48 韓国日本学会

### 【韓国語文献】

- 이익섭외 (2003) 『한국의 언어』 신구문화사  
イイクソプ他 (2003) 『韓国の言語』シンク文化社  
가혜경 (1999) 「한일양국어 1,2 인칭 대명사의 용법 비교」『일본어문학』6  
カヘキョン (1999) 「韓日両国語における 1,2 人称代名詞の用法比較」『日本語文学』6  
민승희 (2007) 『근세일본어의 인칭대명사 특징』 시간은몰래  
ミンスンヒ (2007) 『近世日本語の人称代名詞の特徴』シガヌムレ